

教育研究上の目的

社会情報デザイン学科は、これからの社会において必要となる社会・情報・ビジネスに関する知識を有するとともに、自らの興味・関心に基づき課題を発見し、その課題解決に向けて多様な他者の価値観を理解、尊重しながら協働し、柔軟な発想力、企画力をもって、プロジェクトを完遂することができる人材を育成することを教育研究上の目的とする。

学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

社会情報デザイン学科では、教育研究上の目的を達成するために、次の学生像を人材育成の方針とする。

1. これからの社会において必要となる社会・情報・ビジネスに関する知識を有し、よりよい社会を目指すうえで必要となる思考力と自己研鑽していく態度を持っている。
2. 多様な他者の価値観を理解、尊重しながら、対話を通じて他者に働きかけ、協働することができる。
3. 自らの興味・関心に基づき課題を発見し、情報を活用しながら柔軟な発想でアイデアを創造、提案し、他者と協働しながらプロジェクトを完遂することができる。

そのうえで、次の資質及び能力を有している者に「学士（社会学）」の学位を授与する。

①知識・技能

1. これからの社会において必要となる社会・情報・ビジネスに関する基礎知識、専門知識を有している。
2. 立場の異なる他者を尊重しながら対話する力を有している。
3. 課題の発見・解決のプロセスのために必要となる情報を正しく収集・活用できる力を有している。

②思考力・判断力・表現力

1. これからの社会の構想とその実現に向けた課題解決のために必要となる論理的・創造的思考と判断力を有している。
2. 多様な他者の価値観を理解することのできる態度を有している。
3. 社会が必要としているモノやサービスについて、柔軟な発想で考え、新しいアイデアを提案する力を有している。

③主体性・多様性・協働性

1. これからの社会で何が必要であるかを見定め、生涯にわたり自己研鑽していく態度を有している。
2. 課題解決に向けたプロジェクトを企画するうえで必要となる積極性や働きかける力を有している。
3. 他者と協働しながらプロジェクトを完遂する力を有している。

教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

社会情報デザイン学科では、ディプロマ・ポリシーに定める資質・能力を育成するために必要な授業科目を精選し、系統的かつ体系的な教育課程を編成している。そのために、社会情報デザイン学科では、「基礎ユニット」「専門ユニット」「演習・卒業研究」の3つの領域区分を設け授業科目を配置している。

基礎ユニットでは、これからの社会において必要となる基礎的な知識や力を養うとともに、生涯にわたって自己実現を成し遂げるうえで必要となる基本的な姿勢を育むことを目的とする。

この目的を果たすために、以下の3つのユニットを設定する。

- ・「現代社会理解」では、これからの社会において必要となる社会やビジネスに関する基本的な知識やスキルを広く養うことを目的とし、「現代社会の基礎理解」「ビジネス入門」「現代社会論」「社会学概論」を必修科目とする。
- ・「思考・表現」では、グループワークなどを通じて、他者と協働し、チームで新しい価値を生み出すためのスキルや姿勢を育むことを目的とし、「発想法入門」「課題探究ワークショップⅠ」を必修科目とする。
- ・「情報活用」では、コンピューターを用いた演習などを通じて、これからの社会において必要となる情報の収集・活用に関する基礎的な知識やスキルを養うことを目的とし、「社会情報リテラシー」「調査・統計リテラシー」を必修科目とする。

専門ユニットでは、自らの興味関心に基づいてより高度な専門知識を身につけるとともに、それをさまざまな場面で活用することで、社会課題の発見・解決を志向する力を養うことを目的とする。

この目的を果たすために、以下の5つのユニットを設定する。

- ・「経営・マーケティング」では、ビジネスの現場で生ずるさまざまな問題を解決するために必要となるマネジメントやマーケティング能力を養うことを目的とする。
- ・「社会デザイン」では、社会課題を発見しその解決の道筋をつけるためのより高度な知識と調査スキル、そして実践力を養うことを目的とする。
- ・「データサイエンス」では、さまざまなデータを収集・分析・活用する方法を習得することを目的とする。
- ・「情報システム」では、より高度なプログラムを作成するための知識とスキルを養うことを目的とする。
- ・「メディアデザイン」では、色彩や音響、映像などのデザインの技法を習得することを目的とする。

演習・卒業研究では、習得してきた知識・スキルを統合し活用する能力を養い、主体的に課題探究に取り組み、その成果を発表する力を養うことを目的とする。

この目的を果たすため、「演習Ⅰ」、「演習Ⅱ」、「卒業研究」を必修科目とする。

教育の実施には、それぞれの科目の内容に合った授業形態（講義、演習、実習）を用いる。他者と協働する力を育成し、主体的な学びの姿勢を高めるために、教員と学生間の双方向型授業、グループディスカッション、グループワーク等のアクティブ・ラーニングの手法を取り入れたPBL(課題解決型授業)を導入する。

そのための教育課程の編成方針は以下のとおりである。

基礎ユニット

1. これからの社会において必要となる社会・情報・ビジネスに関する基礎知識を身につけさせる。
2. 立場の異なる他者を尊重しながら対話する力を育成する。
3. 情報を正しく収集・活用できる力を身につけさせる。
4. 身近な生活における課題発見・解決のために必要となる論理的・創造的思考と判断力を身につけさせる。
5. 多様な他者の価値観が存在することを認められる態度を育成する。
6. 身近な生活における課題に対して柔軟な発想で考え、新しいアイデアを提案する力を身につけさせる。
7. 社会に対して広く興味・関心を持たせ、自ら継続的に学ぶ姿勢を育成する。
8. 課題解決に向けたプロジェクトを企画するうえで必要となる積極性を育成する。
9. 他者と協働しながらプロジェクトを完遂する力を身につけさせる。

専門ユニット

1. これからの社会において必要となる社会・情報・ビジネスに関する専門知識を身につけさせる。
2. 立場の異なる他者を尊重しながら対話し、合意にたどりつく力を身につけさせる。
3. 課題の発見・解決のプロセスのために必要となる情報を正しく収集・活用できる力を身につけさせる。
4. これからの社会の構想とその実現に向けた課題解決のために論理的・創造的思考と判断力を身につけさせる。
5. 多様な他者の価値観を理解することのできる態度を育成する。
6. 社会が必要としているモノやサービスについて、柔軟な発想で考え、新しいアイデアを提案する力を身につけさせる。
7. これからの社会で何が必要であるかを自ら見定め、生涯にわたり自己研鑽していく態度を育成する。
8. 課題解決に向けたプロジェクトを企画するうえで必要となる他者への働きかける力を育成する。
9. 他者と協働しながらそれぞれの専門性を駆使してプロジェクトを完遂する力を身につけさせる。

演習・卒業研究

1. 卒業研究を行ううえで必要となる専門知識を身につけさせる。
2. 立場の異なる他者との対話から新しい知見を引き出すことができる力を育成する。
3. 研究を進めていくために必要となる情報を正しく収集・活用できる力を身につけさせる。
4. 卒業研究を行ううえで必要となる論理的・創造的思考を身につけさせる。
5. 多様な他者の価値観を理解したうえで、自らの主張を論理的に相手に伝える力を身につけさせる。
6. 個々の研究成果を客観的に表現する力を身につけさせる。
7. 卒業研究から得られた成果をこれからの社会に還元しようとする姿勢を育成する。
8. 個々の研究を進めていくために、他者と協力し合える力を育成する。
9. 個々の研究テーマに対して主体的に取り組む姿勢を育む。

カリキュラムマップでは、各学科の学生が、卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の関連性などがわかるようになっています。

カリキュラムの授業科目間のつながりや年次進行などがわかりますので、履修上の参考にしてください。

社会情報デザイン学科 カリキュラムマップ

→ 必修科目

領域	学生が身につけるべき資質・能力	1年次	2年次	3年次	4年次
基礎基礎ユニット科目	<				

基礎専門ユニット科目	・これからの社会において必要となる社会・情報・ビジネスに関する専門知識を身につけさせる。 ・立場の異なる他者を尊重しながら対話し、合意にたどりつく力を身につけさせる。 ・課題の発見・解決のプロセスのために必要となる情報を正しく収集・活用できる力を身につけさせる。 ・これからの社会の構想とその実現に向けた課題解決のために論理的・創造的思考と判断力を身につけさせる。 ・多様な他者の価値観を理解することのできる態度を育成する。 ・社会が必要としているモノやサービスについて、柔軟な発想で考え、新しいアイデアを提案する力を身につけさせる。 ・これからの社会で何が必要であるかを自ら見定め、生涯にわたり自己研鑽していく態度を育成する。 ・課題解決に向けたプロジェクトを企画するうえで必要となる他者への働きかけの力を育成する。 ・他者と協働しながらそれぞれの専門性を駆使してプロジェクトを完遂する力を身につけさせる。		<table><tr><td>まちづくり論</td></tr><tr><td>SDGs論</td></tr><tr><td>質的調査法</td></tr></table>	まちづくり論	SDGs論	質的調査法	<table><tr><td>現代若者・子ども論</td></tr><tr><td>アイデンティティ論</td></tr><tr><td>公共政策</td></tr><tr><td>社会調査実習</td></tr><tr><td>リスク社会論</td></tr><tr><td>科学技術社会論</td></tr></table>	現代若者・子ども論	アイデンティティ論	公共政策	社会調査実習	リスク社会論	科学技術社会論		
		まちづくり論													
		SDGs論													
		質的調査法													
現代若者・子ども論															
アイデンティティ論															
公共政策															
社会調査実習															
リスク社会論															
科学技術社会論															
	<table><tr><td>データの整理・視覚化</td></tr><tr><td>オペレーションズリサーチ</td></tr><tr><td>データによる予測・判定</td></tr></table>	データの整理・視覚化	オペレーションズリサーチ	データによる予測・判定	<table><tr><td>データサイエンス演習Ⅰ</td></tr><tr><td>データによる課題解決</td></tr><tr><td>データサイエンス演習Ⅱ</td></tr></table>	データサイエンス演習Ⅰ	データによる課題解決	データサイエンス演習Ⅱ							
データの整理・視覚化															
オペレーションズリサーチ															
データによる予測・判定															
データサイエンス演習Ⅰ															
データによる課題解決															
データサイエンス演習Ⅱ															
	<table><tr><td>社会データベース基礎</td></tr><tr><td>Webコーディング</td></tr><tr><td>プログラミング応用</td></tr><tr><td>Python入門</td></tr><tr><td>JavaScript入門</td></tr><tr><td>オブジェクト指向</td></tr><tr><td>社会データベース応用</td></tr><tr><td>マクロプログラミング</td></tr><tr><td>C言語基礎</td></tr></table>	社会データベース基礎	Webコーディング	プログラミング応用	Python入門	JavaScript入門	オブジェクト指向	社会データベース応用	マクロプログラミング	C言語基礎	<table><tr><td>AIとプログラミング</td></tr><tr><td>ネットショップ</td></tr><tr><td>C言語応用</td></tr></table>	AIとプログラミング	ネットショップ	C言語応用	
社会データベース基礎															
Webコーディング															
プログラミング応用															
Python入門															
JavaScript入門															
オブジェクト指向															
社会データベース応用															
マクロプログラミング															
C言語基礎															
AIとプログラミング															
ネットショップ															
C言語応用															
	<table><tr><td>ビジュアルデザイン応用</td></tr><tr><td>映像デザイン</td></tr><tr><td>サウンドデザイン</td></tr><tr><td>メディア文化論</td></tr><tr><td>Webデザイン</td></tr><tr><td>音声コンテンツデザイン</td></tr><tr><td>色彩論</td></tr></table>	ビジュアルデザイン応用	映像デザイン	サウンドデザイン	メディア文化論	Webデザイン	音声コンテンツデザイン	色彩論	<table><tr><td>ポピュラー音楽論</td></tr><tr><td>現代アート論</td></tr><tr><td>拡張・複合現実</td></tr></table>	ポピュラー音楽論	現代アート論	拡張・複合現実			
ビジュアルデザイン応用															
映像デザイン															
サウンドデザイン															
メディア文化論															
Webデザイン															
音声コンテンツデザイン															
色彩論															
ポピュラー音楽論															
現代アート論															
拡張・複合現実															
演習・卒業研究	・卒業研究を行ううえで必要となる専門知識を身につけさせる。 ・立場の異なる他者との対話から新しい知見を引き出すことができる力を育成する。 ・研究を進めていくために必要となる情報を正しく収集・活用できる力を身につけさせる。 ・卒業研究を行ううえで必要となる論理的・創造的思考を身につけさせる。 ・多様な他者の価値観を理解したうえで、自らの主張を論理的に相手に伝える力を身につけさせる。 ・個々の研究成果を客観的に表現する力を身につけさせる。 ・卒業研究から得られた成果をこれからの社会に還元しようとする姿勢を育成する。 ・個々の研究を進めていくために、他者と協力し合える力を育成する。 ・個々の研究テーマに対して主体的に取り組む姿勢を育む。		<table><tr><td>課題探究ワークショップⅢ</td></tr><tr><td>演習Ⅰ</td></tr><tr><td>演習Ⅱ</td></tr></table>	課題探究ワークショップⅢ	演習Ⅰ	演習Ⅱ	<table><tr><td>卒業研究</td></tr></table>	卒業研究							
		課題探究ワークショップⅢ													
演習Ⅰ															
演習Ⅱ															
卒業研究															
DP	社会情報デザイン学科では、教育研究上の目的を達成するために、次の学生像を人材育成の方針とする。 1. これからの社会において必要となる社会・情報・ビジネスに関する知識を有し、よりよい社会を目指すうえで必要となる思考力と自己研鑽していく態度を持っている。 2. 多様な他者の価値観を理解、尊重しながら、対話を通じて他者に働きかけ、協働することができる。 3. 自らの興味・関心に基づき課題を発見し、情報を活用しながら柔軟な発想でアイデアを創造、提案し、他者と協働しながらプロジェクトを完遂することができる。														
CP	社会情報デザイン学科では、ディプロマ・ポリシーに定める資質・能力を育成するために必要な授業科目を精選し、系統的かつ体系的な教育課程を編成している。そのために、社会情報デザイン学科では、「基礎ユニット」「専門ユニット」「演習・卒業研究」の3つの領域区分を設け授業科目を配置している。														

社会情報デザイン学部 社会情報デザイン学科 (SA)

専門科目教育課程 2026年度生

科 目 群		卒業に必要な単位数	
共 通 科 目		22単位以上	
学科専門科目	必 修	24単位	90単位以上
	選 択	66単位以上	
自由選択科目		12単位以上	
計		124単位以上	

- 共通科目から、必修科目7単位、選択必修科目8単位を含めた22単位以上を履修
- 専門科目から、必修科目24単位（卒業研究を含む）を含めた90単位以上を履修
- 自由選択科目は、12単位以上を履修
- 合計124単位以上を履修

What's "自由選択科目"!??

- 共通科目22単位を超えた分が自由選択科目の単位となる。
例) 共通科目28単位取得した場合は、6単位分が自由選択科目の単位となる。
- 自学科の専門選択科目66単位を超えた分が自由選択科目の単位となる。
例) 自学科の専門選択科目68単位取得した場合は、2単位分が自由選択科目の単位となる
- 他学科の他学科開放科目を修得すると自由選択科目の単位となる。

a～cを組み合わせ（又は単独で）12単位以上を履修

科目区分		授業科目	単位数		授業形態	履修期	配当年次	他学科開放	備考	身につく力 (◎…重要な目的としている ○…主な目的としている)											
			必修	選択						社会情報デザインに関する基礎専門知識	思考と判断力	論理的・創造的 自己研鑽していく態度	他者を尊重しながら対話する力	他者の価値観を理解するところへの態度	積極性や働きかける力	課題発見・解決のための情報収集・活用力	新しいアイデアを提案する力	他者と協働しながらプロジェクトを遂行する力			
学部基礎ユニット科目	現代社会理解	□現代社会の基礎理解	2		講義	前	1年	×		◎	◎	◎	◎		◎						
		□ビジネス入門	2		講義	前	1年	×		◎	◎	◎	◎		◎						
		□現代社会論	2		講義	後	1年	×		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					
		□情報社会とIoT		2	講義	前	1年	○		◎	◎	◎				◎					
		□情報社会と法		2	講義	前	1年	○		◎	◎					◎					
		□マーケティング入門		2	講義	後	1年	×		◎						◎					
		□業界研究		2	講義	後	1年	○		◎		◎	◎				◎				
		□社会学概論	2		講義	前	2年	×		◎	◎		◎								
		□ジェンダー論		2	講義	前	2年	×		◎	◎			◎							
		□社会福祉論		2	講義	前	2年	×		◎	◎			◎		◎					
		□生活経済		2	講義	前	2年	×		◎	◎	◎			◎						
		□消費生活論		2	講義	前	2年	○		◎	◎			◎							
	□政治と社会		2	講義	後	2年	○		◎	◎	◎			◎							
	□現代社会と人権		2	講義	後	2年	○		◎	◎	◎										
	□メディアリテラシー		2	講義	後	2年	○		◎	◎	◎	◎		◎	◎						
	思考・表現	□発想法入門	2		講義	前	1年	×			◎		◎	◎	◎	◎	◎				
		□課題探究ワークショップⅠ	2		演習	後	1年	×					◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		□デザインリテラシー		2	演習	前	1年	×		◎	◎				◎	◎					
		□ビジュアルデザイン基礎		2	演習	後	1年	×		◎	◎			◎	◎	◎					
		□プレゼンテーション基礎		2	演習	前	2年	×		◎	◎		◎		◎	◎	◎	◎			
□プレゼンテーション応用			2	演習	後	2年	×		◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎				
情報活用	□社会情報リテラシー	2		講義	前	1年	×		◎	◎	◎	◎			◎						
	□調査・統計リテラシー	2		講義	後	1年	×		◎		◎	◎			◎	◎					
	□データサイエンス概論		2	講義	後	1年	×		◎	◎			◎								
	□プログラミング基礎		2	演習	後	1年	×		◎	◎					◎						
	□文書作成入門		2	演習	後	1年	×		◎	◎	◎										
	□データ活用入門		2	演習	前	2年	×		◎	◎					◎						
学部専門ユニット科目	経営・マーケティングユニット	□経営戦略論	2	講義	前	2年	○		◎	◎	◎	◎			◎						
		□経営組織論	2	講義	前	2年	○		◎		◎		◎				◎				
		□マーケティングと商品開発	2	講義	前	2年	×		◎	◎			◎	◎	◎	◎					
		□広告論	2	講義	後	2年	×		◎	◎			◎		◎						
		□会計学概論	2	講義	後	2年	○		◎	◎	◎										
		□サービス学概論	2	講義	後	2年	○		◎		◎	◎		◎	◎	◎	◎				
		□企業論	2	講義	後	2年	○		◎		◎										
		□企業倫理とガバナンス	2	講義	前	3年	○		◎	◎		◎	◎		◎						
		□グローバルビジネス	2	講義	前	3年	○		◎		◎	◎			◎						
		□デジタル・マーケティング	2	講義	前	3年	×				◎	◎				◎	◎	◎			
		□コンテンツビジネス論	2	講義	前	3年	×				◎		◎	◎	◎	◎	◎	◎			
		□先端技術とビジネス	2	講義	後	3年	×			◎		◎				◎	◎				
		□マーケティングデザイン	2	演習	後	3年	○					◎	◎	◎				◎			
		□ビジネスプロジェクト	2	演習	後	3年	×						◎	◎	◎	◎	◎	◎			
	社会 意識 向上 ユニット	□現代家族論		2	講義	前	2年	○			◎	◎	◎		◎						
		□異文化コミュニケーション論		2	講義	前	2年	○			◎		◎		◎						

科目区分	授業科目	単位数		授業形態	履修期	配当年次	他学科開放	備考	身につく力 (○…重要な目的としている ○…主な目的としている)											
		必修	選択						社会情報リテラシーに関する基礎専門知識	社会情報リテラシーに関する基礎専門知識	自己研鑽していく態度	他者を尊重しながら対話する力	他者の価値観を理解することの態度	積極性や働きかける力	課題発見・解決のための情報収集・活用力	新しいアイデアを提案する力	シフト発想する力	他者と協働しながらプロジェクトを遂行する力	他者と協働しながらプロジェクトを遂行する力	他者と協働しながらプロジェクトを遂行する力
学部専門ユニット科目	社会デザインユニット	☐ 地域コミュニティ論	2	講義	前	2年	○		○	○		○	○		○					
		☐ 共生社会論	2	講義	前	2年	○				○	○	○		○					
		☐ 課題探究ワークショップⅡ	2	演習	前	2年	×					○	○	○	○	○	○	○	○	○
		☐ マスコミュニケーション論	2	講義	後	2年	×		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		☐ まちづくり論	2	講義	後	2年	○		○	○			○		○					
		☐ SDGs論	2	講義	後	2年	○		○				○		○					
		☐ 質的調査法	2	演習	後	2年	×		○			○	○	○	○	○	○	○	○	○
		☐ 現代若者・子ども論	2	講義	前	3年	○		○			○	○		○					
		☐ アイデンティティ論	2	講義	前	3年	○		○	○			○							
		☐ 公共政策	2	講義	前	3年	○		○	○					○					
		☐ 社会調査実習	2	実習	前	3年	×			○		○	○	○	○	○			○	○
		☐ リスク社会論	2	講義	後	3年	×		○	○			○							
		☐ 科学技術社会論	2	講義	後	3年	×		○		○						○			
	データサイエンスユニット	☐ データの整理・視覚化	2	講義	前	2年	×		○	○					○					
		☐ オペレーションズリサーチ	2	講義	後	2年	○		○	○					○					
		☐ データによる予測・判定	2	講義	後	2年	×		○	○					○					
		☐ データサイエンス演習Ⅰ	2	演習	前	3年	×			○	○				○	○				
		☐ データによる課題解決	2	講義	前	3年	×		○	○					○	○				
		☐ データサイエンス演習Ⅱ	2	演習	後	3年	×		○	○					○	○				
	情報システムユニット	☐ 社会データベース基礎	2	演習	前	2年	×		○						○					
		☐ Webコーディング	2	演習	前	2年	×		○	○										
		☐ プログラミング応用	2	演習	前	2年	×		○	○					○					
		☐ Python入門	2	演習	後	2年	×		○	○					○					
		☐ JavaScript入門	2	講義	後	2年	×		○	○					○	○				
		☐ オブジェクト指向	2	演習	後	2年	×		○	○					○					
		☐ 社会データベース応用	2	演習	後	2年	×		○						○					
		☐ マクロプログラミング	2	演習	後	2年	×		○	○					○					
		☐ C言語基礎	2	演習	後	2年	×		○	○					○					
		☐ AIとプログラミング	2	講義	前	3年	×		○	○					○					
		☐ ネットショップ	2	講義	前	3年	×		○	○					○	○				
		☐ C言語応用	2	演習	前	3年	×		○	○					○					
	メディアデザインユニット	☐ ビジュアルデザイン応用	2	演習	前	2年	×		○	○			○		○	○	○	○	○	○
		☐ 映像デザイン	2	演習	前	2年	×		○	○		○	○		○	○	○	○	○	○
		☐ サウンドデザイン	2	演習	前	2年	×		○	○			○		○	○	○	○	○	○
		☐ メディア文化論	2	講義	後	2年	○			○			○		○	○				
		☐ Webデザイン	2	演習	後	2年	×		○	○					○					
		☐ 音声コンテンツデザイン	2	演習	後	2年	×			○		○			○					
		☐ 色彩論	2	演習	後	2年	×		○	○		○	○		○					
		☐ ポピュラー音楽論	2	講義	前	3年	○		○	○		○	○		○					
		☐ 現代アート論	2	講義	前	3年	×			○		○	○		○					
		☐ 拡張・複合現実	2	講義	前	3年	×		○	○			○		○					
		☐ 課題探究ワークショップⅢ	2	演習	後	3年	×				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	演習・卒業研究	☐ 演習Ⅰ	2	演習	前	3年	×		○	○	○	○	○	○					○	○
		☐ 演習Ⅱ	2	演習	後	3年	×		○	○	○	○	○	○					○	○
		☐ 卒業研究	4	演習	通	4年	×		○	○	○	○	○	○					○	○

〔「卒業研究」の履修について〕

註1：1・2年次終了時に次の条件①～③を満たす場合、「演習Ⅰ」の3年次前期からの履修を認める。

①修得単位数が62単位以上

②「入門ゼミナール」（共通科目）「はじめてのデータサイエンス」（共通科目）「現代社会の基礎理解」「発想法入門」をすべて修得していること。

③学科必修科目（「ビジネス入門」「現代社会論」「社会学概論」「課題探究ワークショップⅠ」「社会情報リテラシー」「調査統計リテラシー」のうち5科目以上を修得していること。

註2：「卒業研究」を履修するには、原則として「演習Ⅰ」と「演習Ⅱ」を修得していること。